

「秋のツヤ肌」はファンデーションで決まる!

ファンデーションには、基礎・土台という意味があり、メイクの中で最もイメージや素材の美しさを左右するアイテム。見た目の印象の7割はベースメイクで決まると言われ、色味ひとつでイメージが変わります。

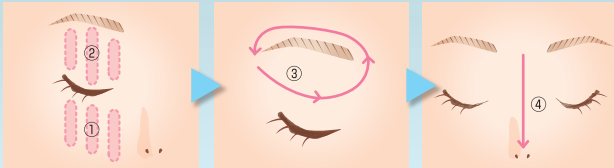
CHECK ファンデーションのカラー選び



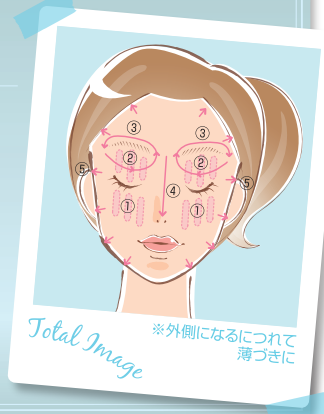
みずみずしくなめらかな仕上がりに

ジェルファンデーション

軽いのにしっかりカバー。トリートメント性の高いジェルベース。



頬まぶたの上にファンデーションをのせ、毛穴を埋めこむように指の腹で垂直に叩き込みながらなじませます。
肩下などの狭い範囲は円を描くようになじませます。
鼻筋をスーッと一塗りします。



キメの細かいマットな仕上がりに

パウダーファンデーション

余分な皮脂を吸収し、テカリやベタつきを抑えます。化粧直しにも便利。



下まぶたからこめかみにかけて軽く叩きこみをし、同様に頬も軽く叩きこみながらなじませます。
上まぶたは円を描くように軽く叩きこみながらなじませます。
小鼻・鼻筋・鼻の下の順に垂直に軽く叩きこみながらなじませます。



☆☆☆ワンランクUPの塗り方テクニック☆☆☆

「多色塗り」で立体感を

顔の外側にダーク色、内側にライト色など、2色以上の色を使えば立体感アップ。

「多重塗り」でナチュラル感を

ジェルファンデーション→コンシーラー→パウダーファンデーションなど、2種以上のファンデーションを使えば厚くならずナチュラル感アップ。



成分や機能を必ずチェック!

安全性

機能性

= 美肌メイク

安心して使えるファンデーションの選び方

一日の半分以上、顔全体を覆うことになるファンデーションは、素肌に最も大きな影響を与えるメイクアイテム。“ブランドが好きだから”“今流行っているから”などという理由で安易に選んでいては、肌トラブルにつながる恐れがあるということを知っておく必要があります。

最近では、“化粧くすれにくい”“シミや毛穴が目立たない”など多種多様な機能をもつファンデーションが増えていますが、選ぶ際には油分の多いものに要注意。カバー力を上げたり、伸びや付きを良くするにはそれだけ油分を多く含むことになります。油分の多いものを皮膚の上に重ねると皮膚呼吸ができず、また酸化しやすいため、油やけや吹き出物、くすみやたるみといった肌トラブルを引き起こす原因に。肌をキレイに見せるはずのファンデーションが、その下では素肌の健康を失いかねないのです。

ファンデーション迷子のあなた、成分や機能を慎重に見極めて、肌にやさしいファンデーションを選びましょう。

あなたのファンデーションダメージは大丈夫!?

ダメージCheck ✓

- 吹き出物が増えてきた
- 化粧ノリが悪い
- 肌色が黄みがかって、にごってきた
- ベタつきやテカリが気になる
- 肌にハリがなく、たるんできた

WARNING
チェックが2つ以上の方は要注意!

「輸入化粧品」にご用心!

日本人と外国人では、肌質・肌の色・生活環境が全く異なります。また欧米諸国では、化粧品の効能の範囲がかなり広く、使用される原料も日本とは違います。インターネットなどで化粧品を個人輸入する方も増えていますが、購入時に成分表示を必ず見て危険度をチェックしましょう。



ファンデーションの役割

1. 肌をキレイに見せる

顔のベースづくりとしてくすみやシミを隠し、顔色を明るくする重要な役割があります。「元氣に見える」のも「疲れて見える」のも、ファンデーションにかかっています。



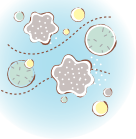
2. 紫外線から守る

素肌を覆うことで“もう一枚の肌”となって保護することになり、紫外線が肌を直接刺激しないようにする役割をしてくれます。



3. 外的刺激から守る

車からの排気ガスや工場からの排煙、ほこりや花粉など、有害物質から肌を守ります。また乾燥を防ぐ役割もあります。



Let's Study!